①	**川阪 益造** {76 歳}　{電気４講座（電気材料）、吉田教授、河村助手（当時）}
②	立石電機株式会社　中央研究所　生産研究室～増加試作研究室　京都府長岡京市（当時は乙訓郡長岡町） 当時は、夕方以降は追いはぎが出るようなところで、女性社員は見送りが必要でした。
③	定年まで同社（1990 年からオムロンに社名変更）に勤務、部門：中央研究所及び電卓開発技術センター（長岡京市）、大阪支店（営業）、草津事業所（滋賀県草津市）にて、人権啓発担当。 家族のことでは、娘を 4 歳で、私の不注意から事故死させたことが痛恨の極みです。
④	オムロンでは、有名な部落地名総鑑事件で人権侵犯事件が起こり、それを契機として、人権啓発担当として人権問題について学ばせていただいたことで、今までとは違う価値観を知ることができた。 又、同社ではそれまで労組がなく、独自の労務管理が行われていたが、あるとき突如急進的な労組が出現し,その対応を通じて、人間的なつながりが重要ということに目覚めた。
⑤	オムロンからは、60.5 歳で定年退職したが、その後も、故浅田兄のお世話などでいくつかの会社でお世話になり、いまも現役同様な生活をしています。
⑥	現在は、京都電測株式会社で、品質管理などの業務を手伝っています。多少の休みはあるが、基本的にフルタイムで働いています。その他の担当業務は KES 環境マネジメントシステムの事務局、RoHS・REACH などの化学物質管理、輸出貿易管理など多様な管理業務を担当しています 未知の体験が有り、「日々新たなり」という心境です。
⑦	年齢的に体力・気力の衰えが目立つので、来年くらいには、今の仕事（勤務）をやめなければならないと思っています。そのあとは、やっと、余生を楽しむことができるかと思っている。 今までできなかった、散歩や健康作りにとりくみたい。そして、彼岸への旅立ちの準備もしなければならない。できれば、自動車部 OB 会の復活を宮浦兄らとともになしとげ、青春の思いを再び味わいたい。
⑧	人間以上に心を許せるペット（ともだち）を持つことがよいと思います。ただ、私の場合、17 年間連れ添そった愛犬（柴犬・メス）に先立たれ、今もってペットロス症状から抜け出せないでいます。

①	**田崎　三郎**（77 歳）　　第 6 講座　　指導教員：米田正次郎
②	光洋精工株式会社，大阪府柏原市，国分工場・電気課
③	60 歳ごろのことを指しているのならば愛媛大学，愛媛県松山市，工学部電気電子工学科
	これまでの短い人生のなかで、何度かありました。 ① 結核で肺切除し，ようやく学窓復帰できたこと（20 歳頃）， ② 光洋精工から大阪市大に移り，サラリーマンから教師になったこと（30 歳頃）， ③ 大阪市大から愛媛大に移り，幸運にも教授昇格への道が開けたこと（40 歳頃）
⑤	規定上の定年（65 歳）は愛媛大学で迎えたが，以後 74 歳まで松山大，広島國際学院大、尾道大でそれぞれ現役教授として務め，以後 74 歳～77 歳の間は尾道大の非常勤講師を務めた。 いまは河原電子ビジネス専門学校の顧問をしているが，公式には『愛媛大学名誉教授』及び『尾道大学名誉教授』と名乗っている。
⑥	郵政省・総務省，通産省・経産省，愛媛県，松山市、今治市，新居浜市等での情報化に関する仕事並びに電子情報通信学会や映像情報メディア学会などの学会での世話役を数多く仰せつかって来たが，これら公職は愛媛大での定年，さらには尾道大の非常勤の終了を期に殆ど退いた。 いまのところ，常設組織では四国情報通信懇談会会長（総務省）と愛媛県ネットワーク防犯連絡協議会会長（愛媛県警）及び NPO 法人愛媛県 IT 推進協会理事長を，テンポラリでは新居浜市地域ワンセグ推進協議会会長を残すのみとなっているが，時間的には随分と自由度が増えている。
⑦	今の予定では，現在持っている仕事は 80 歳になるまでにすべて若手に譲るつもり。その後まだ気力・体力・知力が残っているならば，これまでに色々と集めてきている膨大な各種の資料を整理し，これらをまとめてそれぞれ単行本に出来れば幸い，と思っている。
⑧	30 数年前にやった輸血で C 型肝炎になっていた。その感染が分ったのは 60 歳過ぎ。医師からは，その時すでに，最早寿命と病気のどっちが先になるかは分からないと言われており，以後，体に負担の掛かる積極的な治療は一切受けていない。ただ定期検診ごとに数値は悪化しつつあり，どうやら最近肝硬変に進んできているようだ。家族には，戒名要らず，墓いらず，葬式要らず（お別れ会を開くことまでは止めない），と遺言している。